

平成 15 年 12 月 5 日

中部電力株式会社
北陸電力株式会社
関西電力株式会社

珠洲原子力発電所計画の凍結について

中部電力(株)、北陸電力(株)、関西電力(株)の三社は、珠洲原子力発電所計画を凍結することとし、本日、珠洲市にお願いいたしました。

中部電力(株)、北陸電力(株)、関西電力(株)は、昭和 50 年代初頭に、珠洲原子力発電所を中地域電力三社の広域電源として計画いたしました。この間、行政をはじめ関係する方々のご支援を賜りながら、珠洲市における原子力発電所の立地可能性の調査実施に向け活動してまいりました。

しかしながら、近年、長引く景気低迷や省エネルギーの進展等により電力需要の伸び悩みが顕著になっており、先行きにつきましても人口の減少や製造業の海外シフト等、経済社会構造の変化が進むと予想され、電力需要は従来に比べ緩やかな伸びにとどまらざるを得ないと見通されます。さらに、電力自由化の進展により、厳しい経営環境が予想されます。

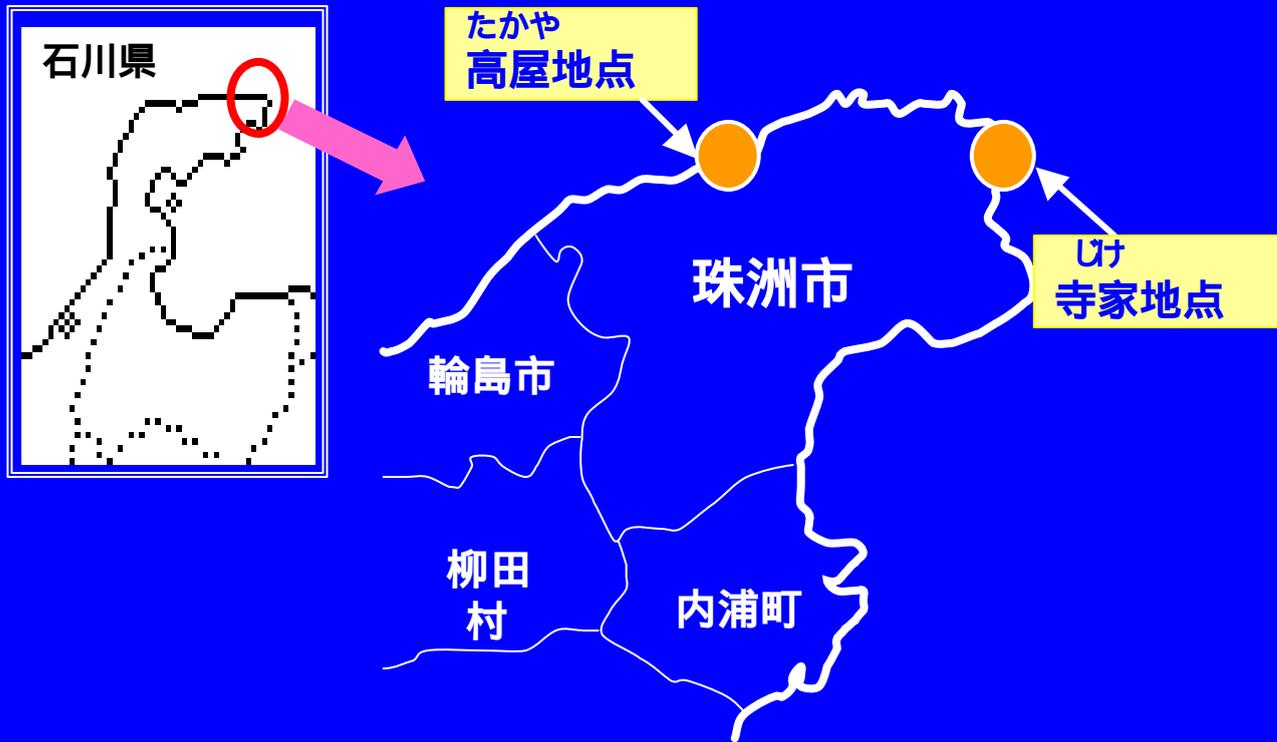
これまで本計画の推進にあたりましては、地元の方々を始め、関係者の皆さまに多大なご理解やご協力をいただいておりますが、地元情勢は可能性調査も実施困難であり、発電所用地確保の見通しが立たない状況にあります。このような情勢を踏まえ、三社で慎重に協議した結果、この計画を凍結せざるを得ないとの結論にいたしました。

地元の方々を始め、関係者の皆さまには深く感謝申し上げますとともに、かかる結論にいたしましたことについて、何とぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

なお、本日この後、石川県に対しても凍結のお願いを行う予定です。

以 上

計画概要および主要経緯



計画概要	
所在	・高屋地点 :石川県珠洲市高屋町 ・寺家地点 :石川県珠洲市三崎町寺家
開発形態	三社共同開発
開発規模	(平成15年度供給計画) 135万kW級×2基 [平成26年度運開] 高屋 寺家両地点での計画

主要経緯	
・	昭和50年11月 珠洲市及び市議会が原子力施設の立地調査を通商産業省(当時)へ要望し、昭和51年3月通商産業省が予備調査を実施。(～昭和52年1月)
・	昭和51年3月 三社でプロジェクトチームを編成
・	昭和59年4月 電力三社(中部・北陸・関西)が「珠洲電源開発協議会」を開設
・	昭和61年6月 珠洲市議会が全会一致で「原子力発電所誘致」を決議
・	平成元年5月 高屋地点で関西電力、北陸電力が立地可能性調査を開始
・	平成元年6月 反対運動により調査中断(以降、調査再開に至らず)
・	平成5年6月 総合エネルギー対策推進閣僚会議で、「要対策重要電源」に指定
・	平成15年12月 計画凍結